

< 参加者募集は締め切りました。多数のお申込みありがとうございます！ >

参加者(定員36名) [H30.4~H30.9 計5回シリーズ]

ネクストリーダー育成ワークショップ

技術・物事を幅広い視点から考え・整理できる人材を育成します！

テーマ「イノベーション」

はじめに

「顧客ニーズを捉えて新たな価値を創造し、イノベーションを実現したい」や、「そういったことに対応できる次のリーダー人材を育てたい。」といった意見を企業の方から多く聞きます。しかし、座学の研修だけでは対応は難しく、技術や物事に対して、幅広い視点から考え・整理できる人材を育成する必要があります。

そこで平成29年度より、その人材育成の場として、「幅広い視点から考え・整理できる力」を身につけることを目的とした「ネクストリーダー育成ワークショップ」をスタートしました。本ワークショップでは、講演を通じて、最新の理論や活用事例を学ぶとともに、業種やバックグラウンドが異なる参加者間でのディスカッションと発表に重点を置き、そのプロセスを通じて、違うものの見方や異なる発想に触れ、参加者の視野を広げます。

今回は、「イノベーション」をテーマに、「顧客が本当に欲しがっている物事を捉え、イノベーションに繋がる新たな価値を創造する」ための思考を学ぶとともに、理論だけでなく、「デザイン思考」、「ビジネスモデルキャンパス」のメソッドを活用した顧客目線でのビジネス設計や、「オープンイノベーション」の実現に必要なマネジメントの基礎を、習得できます。

また、大阪大学 CO デザインセンターの池田副センター長にファシリテータを務めて頂き、グループディスカッションや発表など、ワークショップを効果的にすすめるようにデザインします。

1. ワークショップで得られるもの

仕掛け
・最新の理論、活用事例など注目の高いテーマに関する講演の受講
・講演の受講だけでなく、講演内容を題材とした少人数グループに分かれてのディスカッションに重点を置く
・グループ毎にディスカッション結果を発表 ・発表内容に対する講師、ファシリテータからのフィードバック



育成する能力
・基礎的な知識・知見の習得
・自分の意見を発信する能力 ・バックグラウンドの異なる他業種からの参加者からの意見を聞くことによる視野の拡大（交流のない他業種の参加者との交流） ・ディスカッションを通じて内容のより深い理解
・議論した内容をまとめる能力 ・プレゼンテーション能力 ・ファシリテーション能力 ・自分たちのディスカッション結果と他のグループの結果との比較により、欠けていた視点の気づき

「物事・技術」に対して幅広い視点から考え・整理できる人材を育成します。



2. ワークショップの概要

2.1 実施時期・実施回数・実施場所

[実施時期・回数] 平成30年4月～9月に、計5回実施

[実施場所] 大阪科学技術センター会議室 [大阪市西区靱本町1-8-4]、他

	日程・場所	テーマ
第1回	4/26(木) 10:00-19:00 [4F 401号室]	破壊的イノベーターになるためのステップ ～イノベーションを正しく理解し、新たな価値と顧客を掘り起こす～
第2回	5/30(水) 13:00-19:00 [天満インキュベーションラボ セミナールームA]	”デザイン思考”とサービスイノベーション ～デザイン思考で創出したアイデアを新規事業の立ち上げに結びつけるために～
第3回	6/27(水) 13:00-19:00 [7F 700号室]	“ビジネスモデルキャンパス”で、アイデアを事業化する ～顧客の心をつかむ価値提案を明確に～
第4回	7/27(金) 13:00-19:00 [6F 600号室]	”オープンイノベーション”の正しいマネジメントとは ～オープンイノベーションを支える人材と組織～
第5回	9/5(水) 13:00-19:00 [4F 401号室]	(最終報告会) 与えられたテーマに基づき、グループ毎に発表

2.2 実施内容

- ・オリエンテーション(ワークショップの進め方、ファシリテーションの基本等)
- ・講演(各分野の有識者を招き、最新の理論、今後の方向性、事例等をレクチャー)
- ・グループディスカッション、発表(講演で得た基礎知識と活用事例をふまえ、設定したテーマ毎にグループディスカッションを行い、意見をまとめて発表)

* 後述の「2.5 各回のテーマと講師」、「2.6 各回のスケジュール」も合わせて参照下さい。

2.3 参加対象者と募集人数

- ・対象者：主に若手、中堅社員(本ワークショップへの参加がふさわしいと思われる方)
- ・募集人数：36名(定員に達し次第〳切)

2.4 参加費(税抜き)

- ・賛助会員：10万円/名
- ・非賛助会員：15万円/名

* 参加お申し込みを受領後、請求書を送付いたします。

* 受講者の会場への往復交通費及び交流会参加費(2,000円/回)は、ご負担下さい。

2.5 各回のテーマと講師

講演テーマ	
第1回	<p>「破壊的イノベーターになるためのステップ ～イノベーションを正しく理解し、新たな価値と 顧客を掘り起こす～」 関西学院大学 経営戦略研究科 教授 玉田 俊平太 氏</p> <p>(講演概要) 多くの企業が目指す“イノベーション”。しかしその解釈は多様であり、統一 的な理解がなされていないことも多い。また業界トップクラスの優良企業でも 「破壊的イノベーション」には打ち負かされて滅んでしまうこともある。 本講演では、多くのビジネスパーソンが完全には理解できていない「イノベーション」の種類と特徴を 理解し、また、顧客の潜在ニーズを探り出し、提供すべき新たな価値を見つけるために必要な視点の 持ち方を学ぶとともに、どのようにすれば自らイノベーションを起こせるのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none">✓ イノベーションとは何か、正しく理解する✓ 破壊的イノベーションとはどのようなものか✓ 自ら破壊的イノベーションを起こすためには、どのようにすれば良いか <p>～講師略歴～ 博士(学術)(東京大学)、MPA(ハーバード大学) 米ハーバード大学大学院にてマイケル・ポーター教授のゼミに所属、競争力と戦略との関係について 研究するとともに、クレイトン・クリステンセン教授から破壊的イノベーションのマネジメントについて指導を 受ける。筑波大学専任講師、経済産業研究所フェローを経て現職。研究・イノベーション学会評議員。 平成23年度 TEPIA 知的財産学術奨励賞会長大賞受賞。著書に『日本のイノベーションのジレンマ 破壊的イノベーターになるための7つのステップ』(翔泳社、2015年)、監訳に『イノベーションへの解』 (翔泳社、2003年)、『イノベーションのジレンマ』(翔泳社、2000年)など多数。</p>
	第2回

講演テーマ

「“ビジネスモデルキャンパス”で、アイデアを事業化する」

(一社)関西dラボ 代表理事 岡田 明穂 氏
同 ファウンダー&ディレクター 伏見 明浩 氏

(講演概要)

アイデアは、ビジネスとしてのカタチ(構造)をまとわせないと、事業とはならない。この回では、今、世界中のイノベーター達の間で共通言語として認識され、わが国でも急速に普及が進んでいるビジネスの構造設計図『ビジネスモデルキャンパス』を使っての、ビジネスモデルデザインを学びます。



第
3
回

- ✓ ビジネスモデルキャンパスとは？
- ✓ ビジネスモデルキャンパスで、全体の構造-ビジネスモデルをデザインする
- ✓ バリュープロポジションキャンパスで、顧客の心をつかむ価値提案を明確にする
- ✓ 二つのキャンパスを連結させ、ビジネスモデルを進化させる

～講師略歴～

岡田明穂:

コンサルティングファーム、ビューティーサロンビジネスを展開するベンチャー企業取締役を経て、現在、(一社)関西dラボ代表理事として、ワークショップ・コンサルティング等を通じて、関西のイノベーションを盛り上げるべく活動中。(一社)ビジネスモデルイノベーション協会理事も兼任し、ビジネスモデルキャンパスの普及活動にも尽力している。中小企業診断士/ビジネスモデルイノベーション協会認定コンサルタント。

伏見明浩:

大手メーカーでの商品開発・生産技術・品質管理に従事後、オフィスビズラボ開業。ものづくり系企業を中心に、数多くのイノベーション支援に携わる。中小企業診断士/ITコーディネーター/ビジネスモデルイノベーション協会認定コンサルタント。

「オープンイノベーションの正しいマネジメントとは」

同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授 北 寿郎 氏

(講演概要)

オープンイノベーションを成功させるポイントは単なる技術目利きや適切なパートナー選定ではなく、オープンイノベーションを人や組織の問題として捉え、その実行に必要なスキルやシステムを整備することにある。そこには企業のトップから担当レベルにおけるさまざまなリーダーシップも必要になるし、オープンイノベーションに向けての組織ぐるみの意識改革も重要な課題となる。



第
4
回

本講義では、オープンイノベーションにおける組織や人材の面に焦点を絞った議論を行う。具体的には、企業におけるオープンイノベーションを支える基盤育成と組織の構築を主たるテーマとし、以下のサブテーマについて最先端の教材やケースを用いて学習してもらう。

- ✓ オープンイノベーションに対応できる組織のあり方と組織文化
- ✓ オープンイノベーションのプロセスやマネジメント
- ✓ オープンイノベーションに必要なスキル
- ✓ オープンイノベーションを支えるモチベーションシステム

～講師略歴～

1976年名古屋大学大学院工学研究科修了。工学博士(名古屋大学)

NTT研究所において、磁気ディスクにおける先駆的な研究を行う。知能情報研究部長、社会情報研究部長を歴任後、住民基本台帳ネットワークシステム構築の指揮を執る。2004年より現職。イノベーションマネジメント、特にオープンイノベーションと両手遣いの能力についての研究教育を重点的に推進。

第 5 回	<p>・最終報告会</p> <p>社会課題を解決するイノベティブなビジネスを考え、グループ毎に発表する。 また、最後には、本ワークショップに参加した感想を各自から発表いただく。</p>
----------------------	---

<p>ファシリテータについて：</p> <p>池田 光穂 氏（大阪大学 CO デザインセンター 教授・副センター長） 最終学歴：大阪大学 大学院医学研究科 博士課程単位取得済退学 職歴：1992.4 東日本学園大学（北海道医療大学）教養部助教授 2002.10 熊本大学 文学部教授（文化表象学） 2005.4 大阪大学 コミュニケーションデザイン・センター（CSCD）教授 2015.8 大阪大学 CSCD 教授・センター長（～2016.6） 2016.7 大阪大学 CO デザインセンター 教授・副センター長（現在に至る）</p> <p>専門：中央アメリカの民族誌学と医療人類学。CSCD では、専門的知識をもつ者ともたない者の間、利害や立場の異なる人々をつなぐコミュニケーションの回路の構想・設計・実践を目指して、「現場力」をテーマに、「対話重視」で各種取組みを展開。</p>
--

2.6 各回の基本的なスケジュール

第1回	実施項目	講師
10:00	オリエンテーション	ファシリテータ
11:30	昼食（弁当を事務局で準備）	昼食をとりながら自己紹介
13:00	講演会	講演者・（ファシリテータ）
15:00	ディスカッション（1） *ディスカッション結果の発表を含む	ファシリテータ
16:30	ディスカッション（2）	ファシリテータ
18:00	交流会	
19:00	終了	

第2～4回	実施項目	講師
13:00	講演会	講演者・（ファシリテータ）
14:30	ディスカッション（1） （含、チェックイン・前回振返り）	（講演者）・ファシリテータ
16:30	ディスカッション（2）	（講演者）・ファシリテータ
18:00	交流会	
19:00	終了	

第5回	実施項目	講師
13:00	最終報告に向けての グループディスカッション	ファシリテータ
15:00	最終報告（プレゼンテーション）	ファシリテータ、企業の経営者等
17:30	修了式	修了証、ならびに優秀プレゼン賞授与
18:00	交流会	
19:00	終了	

3. お申し込み方法

- ・別紙の参加申込書に記入の上、事務局あてに、EメールもしくはFAXでお送り下さい。
- ・36名の定員となりますので、お早めにお申込み下さい。
- ・グループワークの性格上、できるだけ同一の方が5回を通じてご参加ください。

4. 募集期間と受講のご連絡

- ・応募締切り：平成30年4月19日(木) *定員に達し次第、締め切ります。
- ・受講の連絡：お申込みを受け取り後、事務局からご連絡いたします。

5. 書類提出先およびお問い合わせ先

一般財団法人 大阪科学技術センター 総務部(担当：篠崎)
〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4
E-mail: k.shinozaki@ostec.or.jp FAX 番号：06-6443-5319

受講者の声

- ✓ 全く携わった事が無かったデータ解析の内容は、弊社のビックデータ活用にご貢献できる可能性があり、今後のスキルUPの為のきっかけを作って頂いたと感じた。
- ✓ ディスカッションを通じて自分の考え方の狭さを認識し、枠を超えた自由大胆な発想を行うことの重要性を理解できた。
- ✓ 異業種メンバーとのディスカッションで、会社で設計担当の自分が顧客目線でニーズを捉えられていないことに気付けた。
- ✓ ディスカッションを通じて新しいアイデアが生まれる体験をし、自分で考えるだけでなく、メンバーの意見を引き出す意識が生まれた。
- ✓ ビックデータ解析を進める事で不良解析が可能となり、将来的に検討しているスマート生産のイメージを持つ事が出来た。
- ✓ バックグラウンドの異なる他業種からの優秀な参加者から意見を聞くことによる異なる発想での知識の吸収、視野の拡大ができた。
- ✓ 自分の意見のみではなく異業種の方の意見も取り入れ、まとめていくということが、今まであまり経験したことがなかったので、勉強になった。
- ✓ 「様々な意見を持った人と議論をする」ということに少し慣れたので、ユーザとの打合せでも、ユーザの意見を最初から否定せずに、聴くことができるようになった。
- ✓ 新規取組みの初期段階で、自らが先頭に立って、メンバーを集めディスカッションを行う場面で、ディスカッションの進めた方など、今回の経験が生きた。
- ✓ 新しいことをやっていきましょうと音頭を取ることに抵抗がなくなった。
- ✓ 堅苦しくなくリラックスした雰囲気で大変良かった。次回も弊社から参加を勧めたい。

個人情報の取扱いについて

- ・本ワークショップへのお申込みにあたり、個人情報保護のため、(一財)大阪科学技術センターが、適切に取り扱います。
- ・ご記入頂いた個人情報は、本ワークショップの運営・管理等に関するご連絡及び当財団の関連する事業等のご案内以外には使用致しません。個人情報の取扱いは、当財団の「個人情報保護規程」に従って対応いたします。